

# 佐々木 修 作品アルバム



発行 ひとミュージアム

# 佐々木修 作品案内



編集・構成 ひとミュージアム

## 佐々木 修さんのこと

画家の多くは若い頃からその道を目指し美術系の学校に学び進むが、佐々木修氏は四十台に入って、ある日突然絵を描き始め十数年になる。

師もなく、団体に所属したこともない、稀有な画家である。彼とは未だ、五、六年の付き合いで決して長いとはいえない。しかも、そうしばしば会うわけではない。しかし、会えば夕方から酒を飲みながら、山のこと、高山蝶こと、写真のこと、お互いの世界の話など、二人とも決して平坦な道を歩んできたわけではないので、話題は尽きず夜明けまで話し込むので期間は短いがもう長い付き合いのような気がしている。

彼は少年時代からかなり苦労と貧乏を背負って生きてきているようだが、逞しく、何のかげりもなく、楽しそうな生き様に敬服している。

絵を描く前の十年間、安曇野で『テント屋』を営んでいたという話は以前に聞いていたが、テント屋の実態など想像することもなく聞き流していた。

それが今回の個展の企画を薦めたことで、彼と頻繁に逢い、彼の自宅でテント屋時代のアルバムを見せられ驚嘆、同時に、彼はこの時代、「既に絵描きであったのだ」とひとり納得した。

想像をすることも出来なかった「テント」、それはまさに作品そのものである。

というわけで、冊子の巻末に、彼の「テント」も作品として、数葉の写真を添えることにしたので御覧頂きたい。

2010年9月吉日

藤井 醇

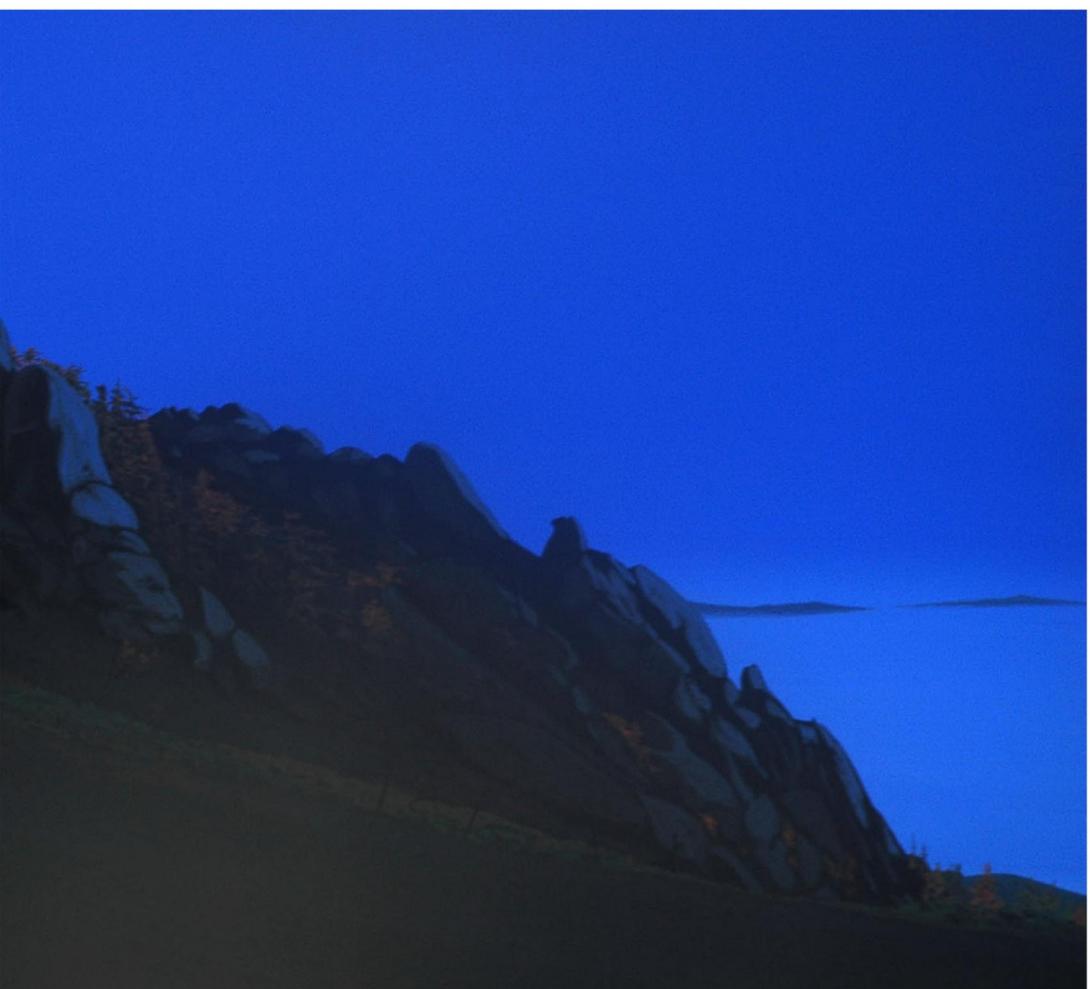


(540x440)

雪灯り



神聖なる時間



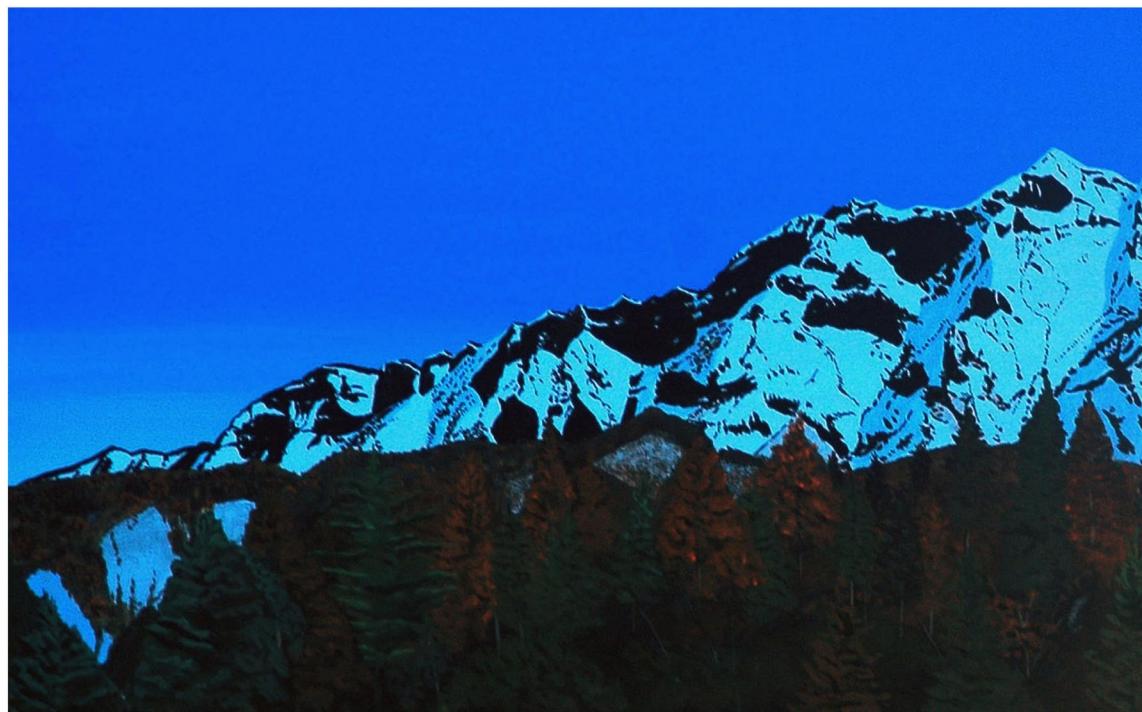
(380 x 800)

(地蔵岳)



心地よい疲れ

(700x560)



黎明 (戶隱連峰)



(250x745)



雪月歌 (560 x 460)



花冷え (550x395)



樂園（白馬乗鞍）



(315x445)



(270x350)

窓



雪山巡礼



(大雪山)

(350x600)

長い夜、灯りのない真っ暗な部屋で過ごす日々  
が半月ほども続いている。

なかなか寝つけないのでトイレのついでに外へ  
出てみた。

昨日の雪を、ふんわりとデコレーションした氷  
河湖は降るような星に照らされ幻想的な美しさ  
である。

そんな景色を眺めていると「ああ今ヒマラヤに  
いるのだなあー！」などと感慨にふけるのだが、  
寒さで思わず我に帰る。

「明日はあの峰に登るのだ！」と奮起して部屋  
にもどる。

冷え切った身体で寝袋にもぐり込んだ。

夜半の冷え込みで目が覚める。

表は雪である。

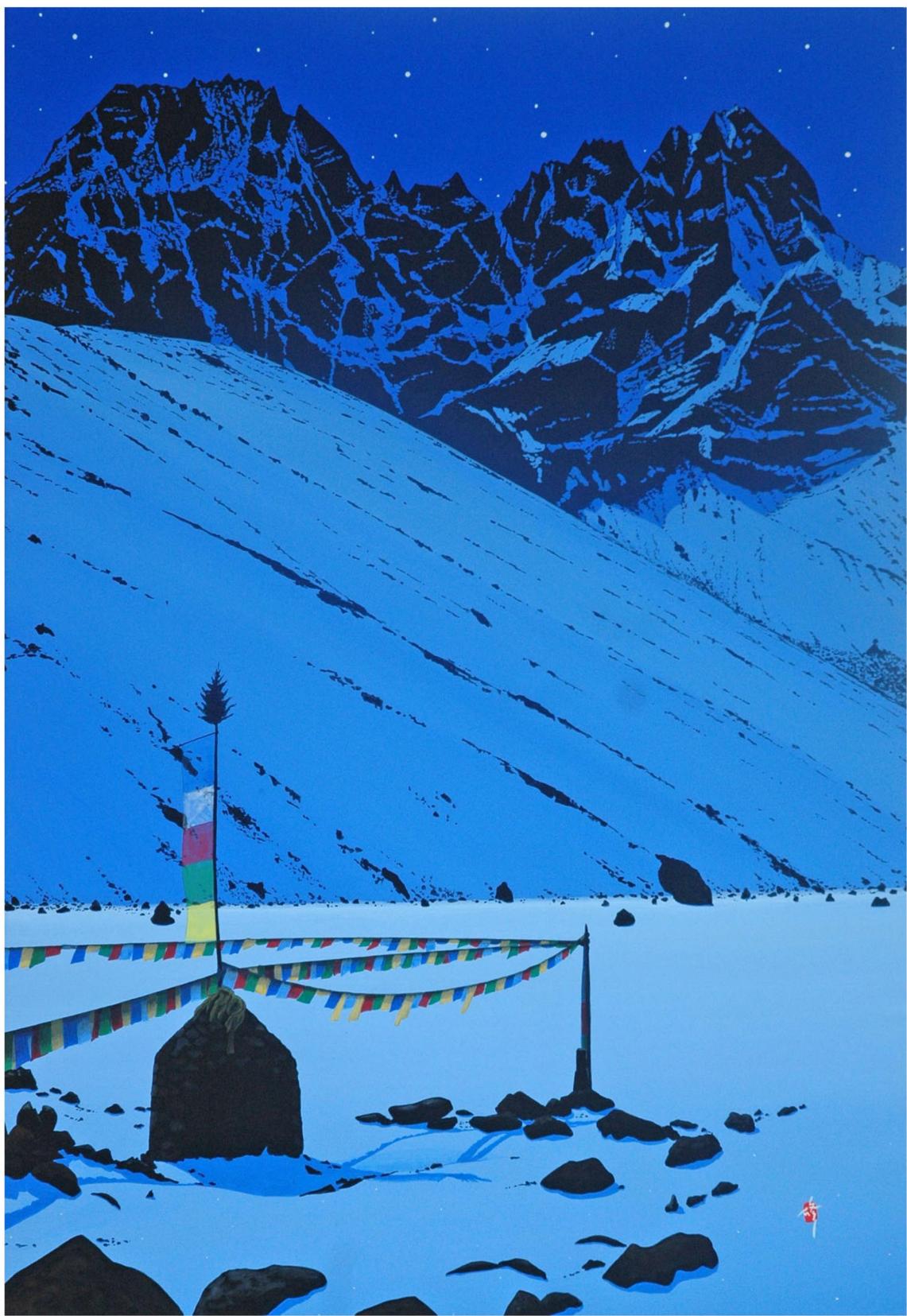
私の窓の下ではヤクが静かにやすんでいる。

ここでは、殆どの物は人かヤクが運ぶのである。

私の生活も、この、もの云わぬ働き者のおかげ  
で成り立っているのだ。

人類がヒマラヤを越えられたのも、この土地で  
生活できるのも、みなヤクと共に生活があった  
からである。

そんなヤクが雪の中で静かに寒さを耐えている  
のを見ると、なんだかいとおしくなってしまう。  
今夜はヤクに感謝して眠ることにしよう。



(530x760)

湖上の星(ゴーキョ)



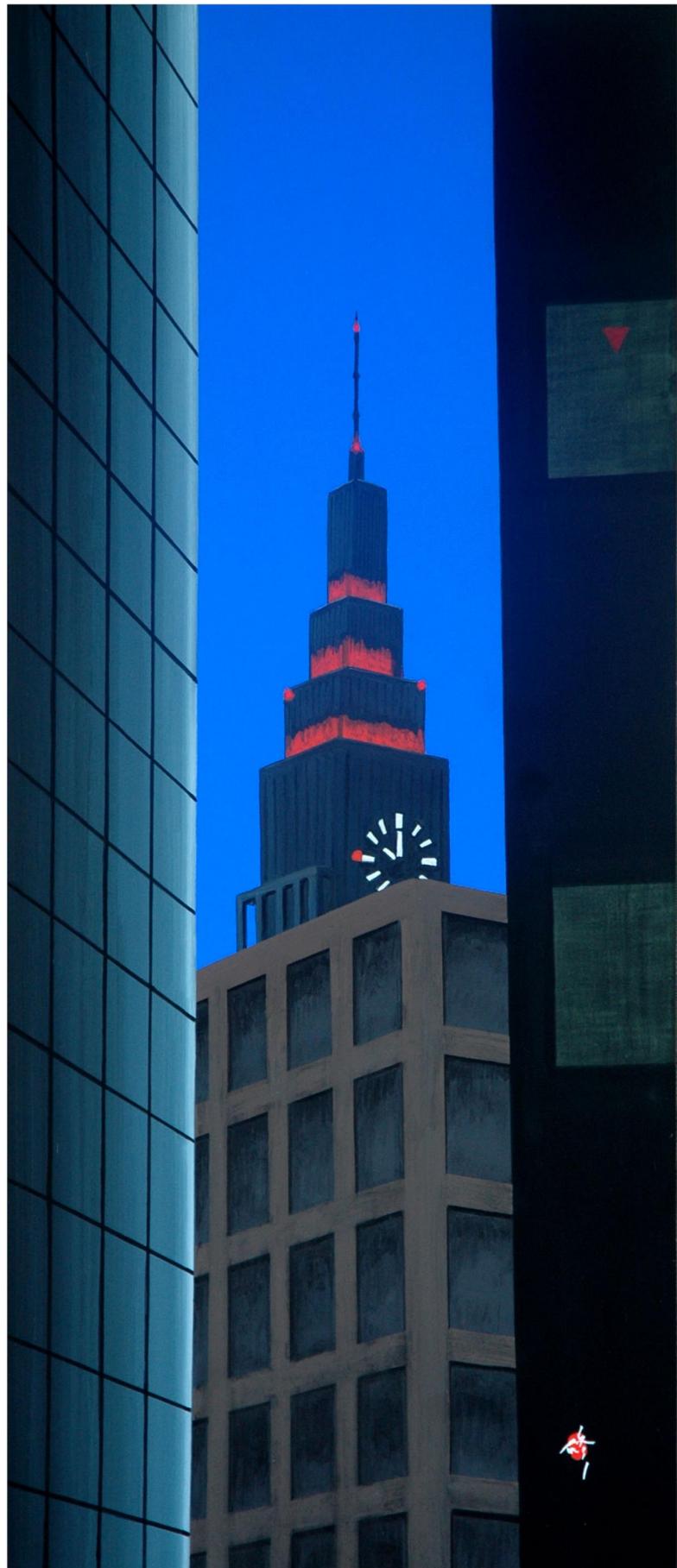
(795x600)

ドウードポカリの星(ゴーキョ)



(700x505)

プモリを望む(ゴラクシェプ)



(624x270)

晩秋のオベリスク

久々の上京、都会でまず目につくのは造形美である。ビル、ドーム、タワーなど沢山の建造物が私を圧倒する、

普段、山の方ばかり向いているが、ビルの谷間に突然現れる都の花は私を楽しませてくれる。

細やかなことではあるが、このチョットした出会いが旅の醍醐味だと思う。

山で出会う可憐な高山植物も、都会で出会う巨大な建造物も、そして我家の周りに広がる稻穂たちも、いつも私を新鮮な気持ちにしてくれる。そんな、ささやかな出会いを心秘かに楽しんでいる。



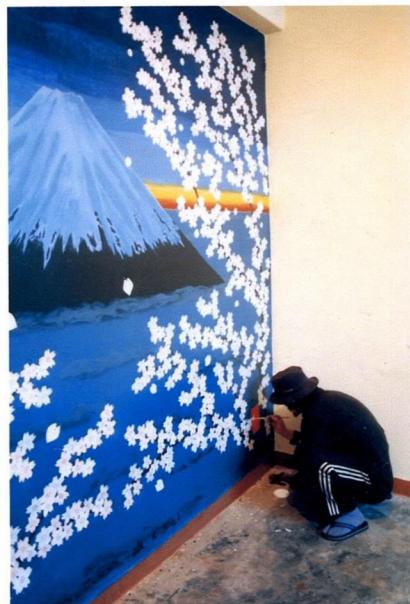
(700x515)

春の宵 (南禅寺)

# 佐々木 修

## ◆ 作家紹介

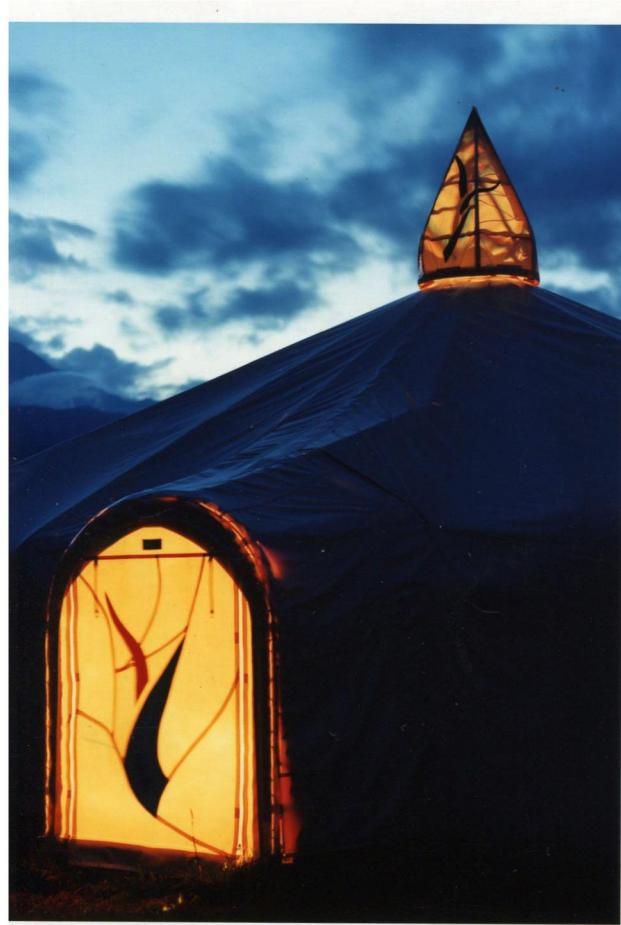
- 1956 北海道川上郡弟子屈町にて生まれる  
1983 旅の途中立ち寄った信州に移り住む  
1987 シルテント工房を設立、オリジナルテント、民族天幕の製作を開始  
1998 絵画の制作を開始  
1999 信州『あづみ野山光ホール』にて初個展  
2000 ネパールへ50日間スケッチ旅行  
2001 東京都町田、ギャラリー＆レストラン『天空の舞い』にて個展  
『あづみ野山光ホール』にて個展  
2003 東京都千歳船橋『けやき美術館』にて個展  
『あづみ野山光ホール』にて個展  
松本『ル・コパン』にて1年間常設展  
2004 札幌『石の蔵ぎやらりい』にて個展  
2005 ネパールへ40日間スケッチ旅行  
東京都町田『天空の舞い』にて個展  
2006 松本『蔵シック館』にて個展  
2007 『蔵シック館』にて個展  
2008 札幌『石の蔵ぎやらりい』にて個展  
2010 長野『ひとミュージアム』にて個展  
2011 東京『熊谷守一美術館』ギャラリーにて  
高野栄太郎氏(陶芸家)と二人展  
現在 信州安曇野市在住  
無所属



2000 ネパール、ボカラにて壁画制作

アトリエ 〒399-8211 長野県安曇野市堀金カラス川 5603-1

TEL 0263-72-4907



シリテント工房夜の情景



シリテント工房昼間の情景



注文で製作したテント





佐々木 修 作品アルバム

発行日 2010年9月15日

発行 ひとミュージアム

長野市川中島今井1693 電話026-283-2251

構成・編集 ひとミュージアム・藤井 醇